

## みんなの けんきゅう



# 「夏のセミナー」開催

8月19日（水）、オンラインで「夏のセミナー」を開催しました。

「はたらく」「くらす」「たのしむ」の3つのワーキンググループによる話し合いでは、本校の研究テーマである「生涯学習力」を高めるために、参加者の皆さんと活発な意見交換を行いました。

講演では、明星大学の平井威先生から「知的障害者の生涯発達～はたらく、くらす、たのしむ、つきあう～」という演題でお話をいただきました。結婚推進室「ぶ～け」や、幸せな生活を送っている方々の紹介があり、温かい気持ちになると同時に、生涯を通じて学び続けるために学校でできることは何かを考える機会になりました。

オンラインでの開催は初めてで、開催する側だけでなく参加していただく側にもいろいろと心配な部分があったと思いますが、150名を超える皆様に御参加いただきました。遠くは鹿児島県など、県外の方にもたくさん御参加いただき、貴重な御意見をいただきました。今回のセミナーでの学びを生かし、職員全員で今後の研究に取り組んでいきます。



## 参加者アンケート<抜粋>



### 【はたらくWG】

- 秋田大学の実践だけでなく、様々な学校の実践を聞くことができ、とても勉強になった。
- 在校生や卒業生の生の声を聞くことができてよかった。
- 生徒の将来につながる学びを、点や線など、複数の視点から捉えることの大切さを学んだ。

### 【くらすWG】

- 地域の社会資源の方々が、卒業後の生活での課題や実践事例を具体的に示してくださり、多面的に考えることができた。
- 「みんなが使える場所」をつくるためには、情報発信が大切だと改めて感じた。
- 「くらす」という捉えが幅広く、「はたらく」「たのしむ」と重なる部分が多く感じた。その中で、よりよく「くらす」ために学校でできることは、自ら問いをもち解決する力や、人と関わる力を高めていくことだと感じた。

### 【たのしむWG】

- 障害のある方が自身の人生を最大限楽しむための学びの支援について、学校教育と社会教育を含む生涯学習の観点から考えるよい機会になった。
- 長瀬先生や安藤先生の話に出ていた「多方向な学び、目標にとらわれない評価」「夢や願いをもつことが楽しみにつながる」など、共感しながら聞いた。

### 【講演】

- 「ぶ～け」の取組にはっとさせられた。人間として幸せに暮らす、当たり前のことを当たり前にするこ、簡単ではないかもしれないが、自分にはどんなことができるのだろうかと考えた。
- 学校教育における恋愛観や結婚観の指導の在り方について考える機会になった。
- あくまでも学校の授業という視点で考えた際、授業にどう落とし込むのか難しいと感じた。

### 【その他】

- Zoomでの発表は、新しい形で時代に合わせた試みだと思う。映像も音声も不便を感じなかった。
- 参加者一覧や当日使用資料を手元に置きながら話を聞きたかった。